

## 「モルディブ国 持続的漁業のための水産セクターマスタープラン策定プロジェクト(MASPLAN)」 本邦研修・水産セクター技術能力向上研修(漁業管理)・(漁業/付加価値向上)が取材されました

弊社が 2014 年より取り組んでいる「モルディブ国 持続的漁業のための水産セクターマスタープラン策定プロジェクト (通称 MASPLAN)」の一環として、カウンターパート本邦研修「水産セクター技術能力向上研修」を実施しました。このコンポーネントの1つである「漁業管理」コースでは、モルディブ漁業農業省の 5 名が 6 月 28 日から 7 月 8 日にかけて日本の漁業管理の仕組みなどについて学びました。

また、7 月 11 日から 7 月 29 日にかけて、鹿児島県で「漁業/付加価値向上」コースを実施しました。こちらのコースでは、漁業農業省から 5 名、漁業者 5 名の計 10 名が日本の漁業や水産物の品質管理について学んでいます。2 つの研修は新聞・テレビの取材を受けましたのでご紹介します。

### 【漁業管理コース (東京・鳥取で実施)】

漁業管理コースでは、日本有数の漁港がある鳥取県境港市を訪問・視察しました。この視察中、地元の新聞 2 紙とテレビ局 1 局による取材を受けることになりました。



写真 1. 取材に応じるムアウィン氏



写真 2. 境港水産物直販センターでの様子

取材は水産庁漁業取締船「白嶺丸」と境港水産物直販センターを見学している際に行われ、インタビューに応じた研修員のムアウィン・ユーセフ氏は、「漁業取締船を見たのは初めて」、「こんなに大きな市場は首都のマレでも見たことがない」などの感想を述べ、モルディブ漁業への応用可能性についても言及しました。視察の様子は当日の夕方のニュースで放送され、また翌日の日本海新聞と山陰中央新報の朝刊に掲載されました。

2 週間の本研修において、境港の訪問は 4 日間と短期ではありましたが、漁業資源管理の現場視察として非常に有意義な視察になったと思います。研修員からも、境港で見た漁港や

取締船、また漁業管理の取り組みについての講義などはモルディブの漁業管理・水産資源管理を考える上で大変参考になったとの評価をいただきました。

また、今回の境港の視察は日本文化理解の面でも、研修員には大好評でした。境港市は「ゲゲの鬼太郎」で有名な水木しげる生誕の地です。研修員の皆さんは日本の「妖怪」に大いに興味を持ったようで、「水木しげるロード」では思い思いに写真を撮っていました。また視察の最終日には、隣県の島根県に足を伸ばし、松江城の見学や出雲そばを堪能しました。



写真 3. 松江城でも取材を受けました



写真 4. 名物の出雲蕎麦も堪能しました

研修最終日には、研修員の皆さんから「もっと長く日本にいたい」「また来たい」との声が聞かれ、満足していただけたようです。本研修での学びや気づきを、マスタープランの策定に生かしてほしいと願っています。



写真 5. 鬼太郎ワールドも楽しみました

#### 【漁業／付加価値向上研修（鹿児島で実施）】

こちらのコースは、鹿児島大学水産学部と志學館大学で受け入れいただき、主に日本漁業や船上での魚の鮮度維持、カツオの加工技術などについての講義や見学を実施しました。研修初日の様子は南日本新聞と鹿児島読売テレビに取材していただき、新聞は翌日の朝刊、テレビは同日夕方のニュースにて放送されました。また、志學館大学のホームページにも本研修について取り上げられました。

(URL : [http://www.shigakukan.ac.jp/information/topics/post\\_612.html?update=true](http://www.shigakukan.ac.jp/information/topics/post_612.html?update=true))



写真 6. 鹿児島大学での開講式にて



写真 8. テレビ取材の様子

本研修は大学で実施されたため、学生との交流の機会も積極的に設けていただきました。約 3 週間の鹿児島での研修は、研修員の皆さんにとって楽しく思い出深いものになったようです。また、学生や大学側にとっても、国際交流やグローバル教育のための良い機会となりました。



写真 7. 学生と一緒に昼食をとって交流しました



写真 9. 学生チームとモルディブチームでフット  
サルスの交流戦をしました

本研修の成果は、マスタープランの作成やパイロットプロジェクトの効果的な実施に役立てられます。モルディブ水産業の発展の一助となることを願っています。

(文責：小野)